



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県



追悼行事「誓いの集い」大会メッセージ

ともに生きる社会の実現へ、当事者目線で創る希望の未来
～事件から 10年、次世代につなぐ誓い～

津久井やまゆり園事件から 10年。私たちは事件でいのちを奪われた 19
人を決して忘れません。

「ともに生きる社会かながわ憲章」と「神奈川県当事者目線の障害
福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」の大切な想いをつない
でいき、私たち一人ひとりが、新たな行動へと踏み出すことで、希望ある
未来をともに創っていきます。

1 「当事者目線」の考え方と取組を、社会へ広げていきます

2 「共感から生まれる優しさ」を、言葉だけではない、さまざまな表現
や関わりを通じて、社会に増やしていきます。

3 「ともいき」社会を、次の世代にもつなげ、ともに創っていきます

この 10年の歩みと誓いを胸に、すべての人のいのちが輝き、一人ひと
りが大切にされる社会へ。私たちは、ともに未来に向かって行動し続けま
す。

令和 8 年 7 月 2 5 日



ともに生きる社会
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

— 私たちは、あなたがいちばんを、すべての人のいのちを大切にします
— 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる社会を実現します
— 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる社会を実現します
— 私たちは、この憲章の理念に基づいて、関係するみなで取り組みます

ともに生きる 翔子